

5日から小笠山運動公園

全日本学生フォーミュラ

大学生や高等専門学校生らが設計、製作した小型レーシングカーの性能を競う「第十五回全日本学生フォーミュラ大会」(公益社団法人自動車技術会主催)に出場する袋井市の静岡理工科大チームの壮行会が二十九日、市役所一階市民ホールであった。大会は九月五、六日の五日間、袋井と掛川両市にまたがる小笠山総合運動公園で開かれる。

壮行会は市産学官連携推進協議会が主催し、静岡理工科大チームのメンバー二十人と外山浩介理事長、原田英之市長らが出席した。原田市長が「ホームグラウンドのエコパで素晴らしい成績を上げることがを期待しています」と激励。チームリーダーの牧野駿さんが意気込みを披露し、「ぜひエコパに足を運び、車の走りっぷりや学生の日々の活動の成果をご覧いただきたい」と呼び掛けた。

大会はガソリンエンジン車(ICV)と電気自動車(EV)の二クラスがあり、中国やインドネシアなど海外を含めて

車の走り成果 発表だ

静岡理工科大チーム 壮行会で意気込み

計九十八チームが出場を予定している。EVクラス二連覇

の実績を持ち、昨年同クラス五位の静岡理工科大チームは両クラスで上位進出を狙う。大会は入場無料。(土屋祐二)



大会での健闘を誓う静岡理工科大チーム＝袋井市役所で